

ストレプトマイシン硫酸塩注射用 1g「明治」

【この薬は？】

販売名	ストレプトマイシン硫酸塩注射用 1g「明治」 STREPTOMYCIN SULFATE for injection 1g「MEIJI」
一般名	ストレプトマイシン硫酸塩 Streptomycin Sulfate
含有量 (1 バイアル中)	1g (力価)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、アミノグリコシド系抗生物質と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、感染症の原因となる細菌を殺菌する作用があります。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

<適応症>

感染性心内膜炎（ベンジルペニシリン又はアンピシリンと併用の場合に限る）、ペスト、野兔病、肺結核及びその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症、ワイル病

<適応菌種>

ストレプトマイシンに感性のマイコバクテリウム属、ペスト菌、野兔病菌、ワイル病レプトスピラ

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にストレプトマイシン硫酸塩注射用「明治」に含まれる成分やアミノグリコシド系抗生物質またはバシトラシンで過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・アミノグリコシド系抗生物質による難聴またはその他の難聴の人
- ・血族にアミノグリコシド系抗生物質による難聴またはその他の難聴の人がいる人
- ・重症筋無力症の人
- ・口から栄養を摂りにくい人、口から栄養を摂れない人、全身状態の悪い人
- ・腎臓に障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）やアナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい）があらわれることがあるので、過去にアレルギーがあった人や薬で過敏症のあった人は、医師に伝えてください。

【この薬の使い方は？】

- ・この薬は注射薬です。
- ・使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において筋肉内注射されます。

〔肺結核及びその他の結核症に対して使用する場合〕

1日量	成人	ストレプトマイシンとして1g（力価）
	高齢者（60歳以上）	ストレプトマイシンとして0.5～0.75g（力価）
	小児 体重の著しく少ない人	適宜減量
使用回数	週2～3日、あるいははじめの1～3ヵ月は毎日、その後週2日	

必要に応じて局所に使用されます。

他の抗結核薬と併用されます。

〔マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症に対して使用する場合〕

- ・通常、成人に使用する量および回数は、次のとおりです。

1日量	ストレプトマイシンとして0.75～1g（力価）
使用回数	週2回または週3回

他の抗菌薬と併用されます。

〔その他の場合〕

- ・通常、成人に使用する量および回数は、次のとおりです。

1日量	ストレプトマイシンとして1～2g（力価）
使用回数	1日量を1～2回に分けて使用します

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しいなどがあらわれたら、ただちに医師に連絡してください。
- ・ふらつき、めまい、耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴があらわれることがあります。これらがあらわれたら、ただちに医師に相談してください。特に腎機能に障害のある人、高齢の人、長期にこの薬を使っている人で、これらがあらわれやすいので、注意してください。また、聴力検査がおこなわれることがあります。
- ・急性腎障害などの重篤な腎障害があらわれることがあります。尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧などの症状があらわれたら、医師に相談してください。この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・溶血性貧血、血小板減少があらわれることがあります。この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

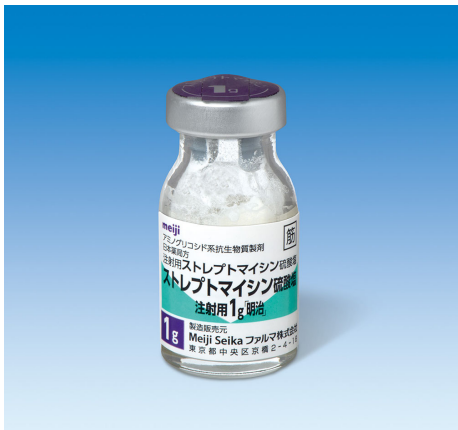
重大な副作用	主な自覚症状
第8脳神経障害 だいはちのうしんけいしょうがい	ふらつき、めまい、耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴
急性腎障害等の重篤な腎障害 きゅうせいじんしょうがいなどのじゅうとくなじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおさがができる、出血が止まりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、むくみ、体がだるい、冷汗が出る、発熱、出血が止まりにくい、疲れやすい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白、鼻血

部位	自覚症状
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴
口や喉	喉のかゆみ、唇や口内のただれ、咳、歯ぐきからの出血、吐き気
胸部	動悸、息苦しい、息切れ
腹部	食欲不振
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が黄色くなる、あおあざができる
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる
その他	高血圧

【この薬の形は？】

性状	白色または淡黄白色の塊または粉末
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ストレプトマイシン硫酸塩
------	--------------

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：Meiji Seika ファルマ株式会社

(<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：(0120)093-396、(03)3273-3539

受付時間：9時～17時(土、日、祝日および当社休業日を除く)